



未就職卒業生への集中支援2013

- ◇ 厚生労働省、文部科学省及び経済産業省は、1人でも多くの新卒者が卒業までに就職できるよう、1月18日から3月末まで「未内定就活生への集中支援2013」に取り組み、1月から3月末までにジョブサポーターの支援によって、約4万1千人が就職しました。
- ◇ 卒業までに就職が決まらなかった場合であっても1日でも早く就職できるよう、引き続き、6月末までを集中支援期間とし、「未就職卒業生への集中支援2013」に取り組み、**卒業後もジョブサポーターによる個別支援を継続し、就職が決まるまで全力で支援を行っています。**

新卒応援ハローワーク等で卒業後も継続して就職活動を全力で支援します！

新卒応援ハローワーク等においては、卒業後もジョブサポーターによる個別支援を引き続き継続するとともに、1日でも早く就職できるよう、全力で支援を行います。

ジョブサポーターによる個別支援

大学等とジョブサポーターとの情報共有による支援（大学等の協力により把握した未内定者への電話による来所勧奨や求人情報の送付など）を継続するとともに、就職活動についてのアドバイスや希望に沿った求人情報の提供などの個別支援を徹底し、1日でも早い就職を目指します。

新卒応援ハローワークの所在地・連絡先：<http://www.mhlw.go.jp/topics/2010/01/tp0127-2/dl/5a.pdf>

就職面接会の開催

中小・中堅企業を中心に就職面接会を追加開催、企業との出会いの機会を増やします。若年者のためのワンストップサービスセンター（通称：ジョブカフェ）においても未内定卒業生等向けにカウンセリング等を実施します。

就職面接会の開催スケジュール：<http://job.gakusei.go.jp/service/231030.do?action=initDisp&screenId=231030>

各地のジョブカフェ：http://www.meti.go.jp/policy/jobcafe/jobcafe_all.html

地域の大学等との連携による中小企業とのマッチングの実施

地域の中小企業・小規模事業者が一体となって大学、ハローワーク等と連携し、大学等との顔の見える関係作りから中小企業と学生等とのマッチング、人材育成・定着までを一体的に実施します。

地域中小企業の人材確保・定着支援事業ホームページ：<http://chiiki-iinzai.com/>

※ 上記の支援や新卒応援ハローワークについては、卒業後も利用可能です。

さらに、ニーズに応じて無料の職業訓練やインターンシップも活用し、就職を支援します。

無料の職業訓練等によるスキルアップ

求職者支援制度による職業訓練において設定される未就職卒業生向けの無料の職業訓練や企業に雇用されながら生きた技能・技術を学ぶための雇用型訓練を活用し、スキルアップを支援します。

詳しくはお近くのハローワークまでお問い合わせください（<http://www.mhlw.go.jp/kouseiroudoushou/shozaiannai/roudoukyoku/>）。

中小企業・小規模事業者の事業現場でインターンシップを実施

中小企業・小規模事業者の事業現場で働く上で必要な技術・技能・ノウハウを習得する機会を提供するため、中小企業・小規模事業者で実施する職場実習（いわゆるインターンシップ）を支援します。

中小企業庁人材対策事業ホームページ：<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/koyou/iinzai.htm>

～未就職のまま卒業された方に対する就職支援を継続して行います～

○ 卒業後も引き続き、新卒応援ハローワーク、ジョブサポーター等による支援を継続し、1日でも早い就職を目指します。

【未内定のまま卒業された方のうち、新卒応援ハローワーク、ジョブサポーター等の支援による就職の実績】

平成24年4月～6月：24,663人

平成23年4月～6月：19,815人

～ジョブサポーター等の支援による未内定卒業生の就職事例～

事例1

在学中に6社に応募し、最終選考までは残るものの内定を得られなかったAさん。既卒者を対象とした求人があることを知らなかったため、留年して新卒求人に再チャレンジすることを検討していたが、ジョブサポーターから既卒者でも応募できる求人があること、卒業後もハローワークで就職支援を受けることができる旨の説明を受け、卒業したうえで就職活動を続けることとした。ジョブサポーターによる面接指導を受け、新卒応援ハローワークが紹介した人に応募したところ、希望職種(放送業界)に就職することができた。

事例2

スポーツインストラクターを希望していたBさん。求人が少ない職種のため就職出来ないまま卒業することとなった。Bさんの個別支援を担当するジョブサポーターが、過去、ハローワークに提出された求人から希望職種の求人を提出したところのある事業所を探し出し、個別求人開拓を実施したところ、大卒等求人を提出してもらえらることとなった。Bさんが不安に感じていた履歴書の作成指導を重点的に行う等の対策を講じたうえで、求人に応募した結果、書類選考を突破。面接を経て就職に至った。

事例3

地元(実家)から離れた地域の大学に進学し、当該地域での就職を目指してしていたCさん。未内定のまま卒業し、地元に戻って就職活動を継続することとなった。地元の新卒応援ハローワークのジョブサポーターがそれまでの就職活動の状況を聞き取ったところ、学生時代を過ごした地域での就職に固執し、応募する求人(企業)に一貫性がないことが判明。相談の中で本来の希望職種、希望就業地等を再認識させ、たうえで他地域への人事異動もある地元企業の求人を紹介したところ採用されることとなった。

事例4

大学在学中は公務員を目指していたDさん。試験に合格することができず、卒業後、民間企業への就職に変更し、ハローワークに来所。Dさんは非常に真面目で実直な性格であったが、限られた時間で自分をPRすることが苦手であり、書類選考に通過するものの最終面接が突破できない状態が続いた。ジョブサポーターが某中小企業を訪問した際に「新しい人材を採用したいが、なかなか大学生の応募がない」という事業主の話を聞き、Dさんの人柄や長所を説明したうえで、面接してくれるよう依頼。実施された採用面接においては、Dさんの話しをじっくり聞く時間が設けられ、結果として営業職として採用となった。